

## 会員の声

### ◆防爆検定合格証取得までの期間の短縮化

株式会社イーエス技研

代表取締役 古谷 隆志

株式会社イーエス技研は、産業機械の分野で、機械安全・電気安全・EMCなどの規格適合支援業務の設計支援、適合試験、申請書類作成代行サービス等を提供しています。

防爆認証サービスは、国内防爆認証取得サービスから開始し、DEKRAサーティフィケーション・ジャパン株式会社(旧キーマ・クオリティ・ジャパン株式会社)と業務提携して、ATEXやIECEXをはじめとする海外認証取得支援サービスも幅広く行っています。

#### [防爆認証の特殊性と重要性]

##### ・防爆安全性の特殊性

防爆安全性が強く要求されるのは、爆発事故が生じたときのリスクが大きいからです。石油プラントなどでの爆発事故はもちろんですが、塗装工場などでも、ひとたび爆発事故が起きれば、人命はもとより、その会社の存続に関わるような大事故につながります。また、防爆機器は、工場のプラントなどに設置され、かつ長期間に渡って使用されることが多いので、機器が設置される環境、機器に接続される接続部などについても、その経年劣化も含めて安全性を評価することが要求されます。

##### ・防爆機器認証の重要性

事故発生時のリスクが大きいこと、設置環境や経年変化などへの検討が要求されることから、防爆の安全性に対するリスク解析は、顕在化されたリスクはもちろん、想定外の状態にならないよう潜在リスクに対しても十分な配慮が必要です。このため、規格に記載された適合設計手段も、対象機器と使われ方により、記載内容の解釈も多岐にわたります。したがって、防爆機器の設計、製造、取り扱いにあたっては、規格の解釈はもとより、機器の設置環境など含めた広い知識と、客観的な観点から評価することが必要であり、防爆機器認証の重要性は大きいと考えられます。

#### [防爆申請業務支援の迅速化にあたって]

国内防爆認証を取得するためには、防爆機器の設計、評価・試験を実施し、その結果をもとに申請書類を作成し、産業安全技術協会へ申請、合否判定して頂きます。私どもが申請作業をお手伝いさせていただく中で留意する点は、申請作業の迅速化です。現在、私どもがお手伝いしている申請作業では、正式申請後から検定合格までの期間は、案件の内容にもよりますが、経験的に4~9ヶ月程度要しております。防爆適合化は、申請に至るまでも相当の期間を要します。従って、私どもとしては、申請から検定合格までの期間については、少なくとも平均的に6ヶ月以内に収めるべくことを目標とし、当該プロジェクト全体の期間短縮に貢献して参りたいと思っております。

検定合格までの期間は、製品そのものの複雑さや、防爆対応の難易度に依存しますが、特に申請準備段階における適合エビデンスを含めた防爆適合設計の完成度によります。最近は、最終的な評価、申請書類作成前の段階の適合設計支援からのお手伝いを希望されるお客様が増えてきています。尚、申請後、指摘される主な事柄としては、申請書類の不備が挙げられ、結果的に、産業安全技術協会の検定作業において、余計な時間をかけてしまうこととなります。従って検定側においては、上記のような申請書類の基本的な不備を減らすことを申請者に期待されることかと思えます。

また、申請する側の立場としては、申請書類作成のための工数低減などのため、可能な範囲で既に実施されている評価・試験報告書の転用、同一型式の範囲の運用等、具体的には国際規格に基づく海外認証機関の考え方に近づけていただくことが期待されます。

一方、申請作業をお手伝いさせていただく側としましては、防爆適合化へ私どもの技術力向上はもとより、これら申請書作成要領についても、検定作業が円滑に進行していただけるよう努力させていただく所存です。産業安全技術協会との相談及び申請者様のご協力のもと、検定合格までの、より一層の迅速化、短縮化を目指したいと考えています。